

社会生活等状況確認書【記入例】

【以下の内容について、訓練を円滑に受講するために、本確認書を訓練実施機関に提供することに同意します。】

受講者氏名 (自署)	
---------------	--

【以下は支援機関の方がご記入ください】

<p>1 健康面の状況</p> <p>(1) 診断名：(<u><例>広汎性発達障がい、自閉症スペクトラム障がい</u>)</p> <p>(2) 通院状況：<u>週に1回・2週間に1回・1か月に1回</u>・2か月に1回・その他 ()</p> <p>上記通院を忘れることなくできているか <u>はい</u> いいえ (その理由：)</p> <p>(3) 悪化時の状況※悪化前、悪化時にはどのような症状があるか。</p> <p><u><例1>聴覚過敏があり、周囲の話し声などに過敏に反応してしまい、集中を欠くことがある。そういった場面でも、耳栓をすれば集中できる。</u></p> <p><u><例2>当支援機関に通所されてからは悪化したことはない。</u></p>

<p>2 就労準備の状況</p> <p>(1) 健康管理</p> <p>①服薬管理ができている：<u>できる</u>・たまに忘れることがある・できない</p> <p>②規則正しい生活（1日3食、決まった時間の睡眠）ができている：<u>できる</u>・たまに乱れる・できない</p> <p>(2) 日常生活管理</p> <p>①身だしなみ（清潔保持）を整えることができる：<u>できる</u>・あまりできない・できない</p> <p>②金銭管理（収入に応じた生活）ができる：<u>できる</u>・あまりできない・できない</p> <p>(3) 対人関係</p> <p>①あいさつ・返事ができる：<u>できる</u>・できない</p> <p>②自分の意思を伝えることができる：<u>できる</u>・できない</p> <p>③協調性があり、人とうまく付き合うことができる：<u>できる</u>・できない</p> <p>④パニック（感情の混乱）になることがなく、安定している：<u>安定している</u>・不安定な時がある・安定していない (パニックになった時の対処方法：)</p> <p>(4) 基本的労働習慣</p> <p>①自己の意志で働きたい気持ちがある：<u>ある</u>・あまりない・ない</p> <p>②働くことに家族・主治医が理解している：<u>理解(賛成)している</u>・理解していない(反対している)</p> <p>③週5日間仕事（職業訓練を受ける）を継続できる基本的な体力がある：<u>ある</u>・ない</p> <p>④職場のルールを守ることができる：<u>できる</u>・できない</p> <p>⑤報告・連絡・相談ができる：<u>できる</u>・できない</p> <p>(5) 職業適性</p> <p>①指示通り、ミスや間違いなく作業ができる：<u>できる</u>・できない</p> <p>②作業中は集中し、かつ、正確性を保ちながら、時間内に作業をこなすことができる：<u>できる</u>・できない</p> <p>③作業手順や種類の変化に対応できる：<u>できる</u>・できない</p>
--

3 希望する職種・労働時間・給与 ※職種や給料へのこだわりの有無 ある場合は具体的な内容

＜例1＞過去に事務職の経験があることから、事務職希望。正社員や給料へのこだわりは特にないが、パソコンを使った仕事を希望している。

＜例2＞定型的な作業（職種のこだわりなし）・フルタイム・月給12～13万円（税金等控除前）を希望。

4 支援機関からの申出事項

(1) 支援機関が就業等に向けた支援を始めてからの期間

1年 0 か月

(2) 今までの状況 ※支援機関に関わってから職業訓練の受講を希望するまで

＜例＞大学を卒業後、〇〇系の企業へ就職するがコミュニケーションの課題により離職し、その後、医療機関に相談・受診したところ「発達障がい」の診断を受け、当支援機関を紹介された。継続的な就労に向けた対人関係の訓練と、ご自身の障がい特性の理解と強みを活かした就労に結びつけていきたいと希望している。

(3) 就労に向けた課題・強み ※当科の訓練に期待することも含め具体的に記入。

＜例＞課題は、言葉づかいと、結論から述べるなど話したいことを整理すること。強みは、性格が素直なところであり、興味を持てる作業には集中して取り組むことができる。

(4) 自己特性の理解 ※自分の障がい等（できること、できないこと、努力すればできること）をどこまで理解・受容できているか記入。

＜例1＞これまでの学校生活や職業生活での苦労が障がいに起因していることが理解できたようであり、今後はオープン就労に向けて前向きに考えている。

＜例2＞話を理解できなかったときも、改めてゆっくり説明してもらえれば理解できている。ご自身も特性を理解されており、相手に配慮事項を伝える訓練をしてきたので、就労の上では問題はないと思われる。

(5) その他、留意事項 ※受講に関連して、また今後の就職を目標として、当校が知っておいた方がいいこと等を自由に記入。

＜例＞当支援機関の利用開始から約1年が経過しているが、それまで〇〇市〇〇区の保健福祉センターのグループワークを利用していたことがあり、区の相談員とも関係がある。また地域生活支援センターも時々利用しており、そこで色々と生活面の相談にのってもらっているようである。

令和 年 月 日

大阪府商工労働部雇用推進室長 様

_____ さんを _____ 科の受講者として推薦します。

支援機関 住 所：〒 _____
機 関 名： _____
代表者職・氏名： _____
電 話 番 号： _____
担当者職・氏名： _____